

木もれ日の公園を歩く

長い間、地元の人によって里山の木は炭や薪に、谷戸は田んぼや畑として利用されていましたが、昭和40年代以降社会の変化と共に使われなくなりました。

昭和30年代までこのような所にはたくさんの種類の生き物が生息し、生物多様性に富んだところでした。

人の手が入らなくなってやや少なくなったものの、ここには今では珍しくなった貴重な生き物がいろいろいます。

2015年、神奈川県自然保護協会が選ぶ県内生物多様性ホットスポットとして選定されました。

あつぎこどもの森公園憲章

私たち厚木市民は、『あつぎこどもの森公園』において、多くの生き物に恵まれた自然環境や里山の文化などの資源を守り、いかながら、遊んで学んで元気になれる自然体験活動を通じてたくましい子どもたちを育てる取組を推進するため、この憲章を定めます。

- 私たちは、厚木市の生き物にとって重要な場所である『あつぎこどもの森公園』の自然環境を守り、育て、その大切さを伝えます。
- 私たちは、里山の自然環境の特性をいかした様々な体験の機会を子どもたちに提供し、生きる力を育みます。
- 私たちは、里山で継承されてきた農業や暮らしの知恵を伝承し、新たな里山の文化を育てます。

制作 ©あつぎこどもの森クラブ自然プロジェクトグループ 通巻82号

写真 吉田文雄・ナカノジュンゴ・青砥航次

連絡先 あつぎこどもの森公園管理棟 046-210-3433

E-mail atsugikodomonomoriurabu@gmail.com

HP: <https://atsugikodomonomori.com/>



ネム

2023年7月15日(土)

主催 **あつぎこどもの森クラブ**

このパンフレットのバックナンバーは下記からダウンロードできます
<https://atsugikodomonomori.com/guidedwalk>



最近のこどもの森公園 7月2日

植物



ゴズイ (ミツバウツギ科)

クサギ (つぼみ) クサギは臭木で、葉に強い臭いがある事からついた名前。

先入観無しでこの臭いを嗅いだ人は必ずしも悪い臭いとは思わない。

花の蜜はアゲハチョウ類の好物。



← ヤブラン

↓ ホタルブクロ



タケニグサ ケシ科の毒草とは言っても薬にもなる。水虫に効くという話もあるが、触ったり手を洗おう。

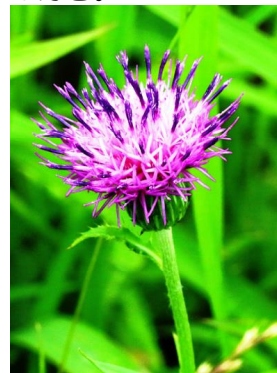


ヤブカラシ (ブドウ科)

クサギ同様蜜はアゲハチョウ類が好む。



ニガナ



新鮮な花のおしべに手を触れて見よう。何が起るかな。

ノアザミ



ヘクソカズラ (アカネ科) 葉がいやな臭いと思われたところからついた名。花をよく見るとかわいい。

地衣 コケ



ウメノキゴケ



コスギゴケ



ナミガタタチゴケ



ハマキゴケ

昆虫

バッタ類



ショウリョウバッタ 幼



クルマバッタ 幼



クサキリ



ホシササキリ



ツコムシ♀

クルマバッタは背中が丸みを帯びているのが特徴です。数が減っているので心配な種類です。

クサキリやササキリ類は背の高い草むらを好みます。クルマバッタは背の低い草原が好みます。



マユタテアカネ



ナツアカネ

トンボ類

2種類の赤とんぼです。まだ余り赤くありません。これからだんだん成熟して赤みをましていきます。

蝶・蛾



イチモンジチョウ



ジャコウアゲハ♂



ウラギンシジミ夏型



アシベニカギバ

雄が発する独特の匂いが名前の由来です。

あしの色が赤いところがらついた名前。幼虫はガマズミの葉を食べる。

甲虫



カナブン



コフキゾウムシ



ミヤマオビオオキノコムシ

キノコ類を食べる。ヒメオビキノコより大きく、複眼間の幅が広い。



シロスジカミキリがコナラの幹につけた食べ跡

活動の記録

くぬぎの丘 バッタ類モニタリング



今年の第1回目を7月8日に行いました。

方法は、設定したラインを一定方向に進みながら捕獲したバッタ目を記録します。記録した虫は放します。

調査コース

ライン1

強度の草刈り域

ライン2 3

草の高刈り境界。

この日の結果は下の表です。

種名	ライン1	ライン2	ライン3
クルマバッタ	2		1
ショウリョウバッタ	6		5
オンブバッタ	6	1	9
イナゴ	2		
ササキリ類	10	3	4
クサキリ	2	1	
ショウリョウバッタモドキ	6		
ツユムシ		1	1
カマキリ			1

環境の指標として大事な種は、クルマバッタ、ショウリョウバッタモドキ、オナガササキリと考えています。

今回は翅の伸びていない幼虫が多くきちんと同定できませんでしたが、概ね良好と判断できました。10月まで、月1回の予定で続けます。興味のある方は参加してください。

こどもの森ガイドウォーク（自然観察）原則毎月第3土曜日

原則事前申し込み制で、定員に空きがある場合は当日参加もできます。会員に限らず誰でも申し込みます。

管理棟集合 参加無料となたでも参加できます。 開始時間要確認

4月15日	雑木林の春	11月18日	みのりの秋
5月20日	新緑の空中回廊を歩く	12月16日	生き物の冬越し
6月17日	木の実を見つけよう	2024年	
7月15日	木もれ日の公園を歩く	1月20日	冬の野鳥
8月19日	湿地の生き物を調べる	2月24日	冬芽とコケ
9月16日	草原の虫たち	3月16日	春の兆し
10月21日	秋の花	次回	

植物モニタリング

原則毎月第2金曜日の9:30から 決まったコースを歩いて出現する植物を記録します。植物を覚えたい方により機会です。会員対象

草木染め勉強会

園内にある植物を使って草木染めをいろいろ試してみようという会です。毎月第3金曜日午前中。 会員対象です。(入会はいつでも受付けています)

いきものガイド

東京農大学生による生き物調べお手伝い 第1, 第3日曜14時 ~16時



コゲラ